

研究計画概要

| | |
|-------------|--|
| 助成年度・種別 | 2020年度 若手研究助成 |
| 研究者 | 谷 真如 |
| 所属 | 法務省東京保護観察所、筑波大学大学院システム情報工学研究科 |
| 研究テーマ | 刑務所出所者の居住地の地理空間情報を用いた再犯予測モデルの構築 |
| 研究計画概要 | <p>本研究は、刑務所出所者の再犯を予測する統計モデルに、従来注目されてこなかった出所後の居住地の地理空間情報の特徴を加え、これらが再犯リスクに与える影響を我が国で初めて解明しようとするものである。</p> <p>具体的には、GIS(地理情報システム)ソフトウェアを用いて刑務所出所者の居住地域を分析し、再犯率が顕著に高い地域や低い地域に見られる特徴を統計的に明らかにする。次に、罪種(窃盗、覚せい剤取締法違反)や刑務所入所回数等の個人内の要因と、社会経済状況や周辺地域への刑務所出所者の住居の集中等の居住地域の要因との相互作用に着目した解析を行い、新たな再犯予測モデルを構築する。</p> <p>2017年に成立・施行された再犯防止推進法は、施策の実施主体を国のみならず地方公共団体にも求めており、高精度の再犯予測に基づく国の指導・支援のみならず、各地域の実情に応じた再犯防止の取組が必要とされている状況にある。そこで、本研究の成果については、国内外の関連学会で発表等を行うとともに、各地域での実際の取組に資するべく施策所管部局等への政策提言につなげる。</p> |
| 選考委員からのコメント | <p>地理情報システム(GIS)のソフトウェアを使って、居住地域に着目した刑務所出所者の再犯リスクの予測モデルを構築しようとする意欲的な研究である。犯罪者処遇の実務経験を生かした研究であり、個人的要因と居住地域要因の相互作用モデルが興味深い。モデルの構築には、頻回転居をどのように変数に組み込むかなど多くの研究課題があることから、これらに関する学術的な成果を期待したい。</p> |